

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち臨時交付金	取組内容・実績	評価（成果・課題）
1	丹波竜施設の感染防止対策	新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図りながら施設の運営等事業を継続していくために、必要な感染防止用の物品を購入し、来館者等の感染防止を図る。	R4.8	R5.3	453,894	453,000	施設内の空気環境整備及び感染症予防対策に必要な備品や消耗品を購入した。 〔備品〕空気清浄機1台、CO2センサー1台、サーキュレーター2台 〔消耗品〕ペーパータオル、消毒用アルコールほか	施設内の空気環境を整えるため、空気清浄機・CO2センサーによる管理を行い、サーキュレーターによる空気循環を図った。また、アルコールによる消毒作業や、トイレはペーパータオル使用などでクラスターの発生を防ぐことができた。
2	アフタースクールの感染防止対策	アフタースクール事業の継続的な実施を図るため、必要な新型コロナウイルス感染症対策の衛生用品を購入し、利用者の感染防止を図る。	R4.4	R5.3	365,757	365,000	感染防止対策の衛生用品購入（マスク・消毒液・ハンドソープ・アルコールハンドスプレー・ペーパータオル）	衛生用品を購入し、利用児童の感染拡大防止を図ることができた。
3	アフタースクールの空調新設工事	既存の空調設備の整った保育室だけでは密となることから、新型コロナウイルス感染防止対策として保育室を分散するため、アフタースクールの空調設備のない保育室に空調新設工事を行う。	R4.4	R4.7	2,519,000	2,519,000	空調設備新規設置 2施設	新型コロナウイルス感染防止対策として保育室を分散することで、密を避け安心安全な保育環境を整備することができた。
4	救急活動における感染防止対策資器材購入	救急・災害現場で活動する消防職員の新型コロナウイルス感染防止対策のため、マスク等を購入する。	R4.5	R4.12	260,678	260,000	病院前救護体制を維持するため、救急隊員の感染防止対策資器材を整備した。 ・感染症対策セット100セット	救急隊員の感染を防ぎ、病院前救護体制が維持継続できた。
5	消防隊員の感染予防対策	消防隊員の新型コロナウイルス感染予防対策のため、消火活動時に使用する資器材を購入し、衛生的な活動環境の確保する。	R4.6	R4.8	808,500	808,000	消防体制を維持するため、消防・救助隊員の感染防止対策資器材を整備した。 ・空気呼吸器用面体25個	消防・救助隊員の感染を防ぎ、消防体制が維持継続できた。
6	市役所春日庁舎のトイレ整備事業	飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、春日庁舎におけるトイレの洋式化及び洋式トイレの蓋設置の工事を行う。	R4.12	R5.3	2,530,000	2,530,000	感染拡大の防止のため、春日庁舎におけるトイレの洋式化4基、洋式トイレの有蓋化7基の改修工事を実施した。	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
7	公衆トイレのトイレ整備事業	飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、公衆トイレ等のトイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化等の工事を行う。	R4.11	R5.3	9,889,000	9,889,000	感染拡大の防止のため、公衆トイレ（9ヶ所）の改修工事（便器の洋式化18台、自動水栓化20台、LED照明54ヶ所）を実施した。	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
8	川代公園のトイレ整備事業	飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、川代公園のトイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化等の工事を行う。	R4.11	R5.3	685,300	685,000	感染拡大の防止のため、公園のトイレ改修工事（便器の水栓化2台、自動水栓化2台、便座除菌クリーナー4個）を実施した。	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち臨時交付金	取組内容・実績	評価（成果・課題）
9	小中学校のトイレ整備事業	飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、小中学校のトイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化の工事を行う。	R4.11	R5.3	102,326,400	102,326,000	新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、小中学校のトイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化の工事を実施した。 ・中学校 4校分 22,253,000円 ・小学校 11校分 80,073,400円 ・トイレ（洋式化） 中学校 47台 小学校 92台 ・手洗い場（自動水栓化） 中学校 23ヶ所 小学校 117ヶ所	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
10	大杉ダム自然公園のトイレ整備事業	飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、大杉ダム自然公園のトイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化等の工事を行う。	R4.12	R5.3	1,916,200	1,916,000	感染拡大の防止のため、トイレ改修工事（便器の洋式化4台、自動水栓化9台、便座除菌クリーナー10個）を実施した。	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
11	丹波悠遊の森トイレ整備事業	飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、丹波悠遊の森のトイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化等の工事を行う。	R5.1	R5.3	2,872,100	2,872,000	感染拡大の防止のため、トイレ改修工事（便器の洋式化3台、自動水栓化5台、小便器の自動水洗3台、便座除菌クリーナー5個）を実施した。	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
12	丹波悠遊の森エナガ棟の浴室整備事業	浴室がないコテージの利用客は、共用の大浴場を利用する必要があり、飛沫飛散、接触、密などの新型コロナウイルス感染リスクを回避できないため、丹波悠遊の森の浴室がないコテージ「エナガ棟」に浴室を新設し、コロナ感染拡大防止を図る。	R4.6	R5.3	6,806,800	6,806,000	感染拡大の防止のため、浴室新設工事（延床面積A=7.0㎡）を実施した。	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
13	青垣総合運動公園プール棟のトイレ整備事業	飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、青垣総合運動公園プール棟におけるトイレの洋式化及び洋式トイレの蓋設置の工事を行う。	R4.9	R5.3	1,760,000	1,760,000	感染拡大の防止のため、トイレ改修工事（便器の洋式化2台、洋式トイレの蓋設置の工事2台）を実施した。	感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
14	看護専門学校特別会計繰出（学生及び教員の実習に伴うPCR検査料の負担軽減）	看護専門学校の学生及び教員の臨地実習に伴い、実習施設側が学生等の受入れにあたって新型コロナウイルス感染症対策としてPCR検査の実施を求める場合、修学に不利益が生じることのないようにするため、学生等のPCR検査に要する費用を市が負担する。	R4.5	R5.3	864,000	864,000	臨地実習に際して、実習施設から求められたPCR検査に要する費用を市が負担した。 ・学生 118人 ・実習指導教員 26人 計144人	感染対策を行いながら、円滑な臨地実習の実施ができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち臨時交付金	取組内容・実績	評価（成果・課題）
15	中小企業への経営改善資金信用保証料補助	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経営の安定に支障を生じている中小企業者に対し、事業者が負担する信用保証協会への信用保証料の一部を補助することで、円滑な資金繰りを支援する。	R4.5	R5.3	864,184	864,000	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経営の安定に支障を生じている中小企業者に対し、信用保証協会への信用保証料を補助する事で円滑な資金繰りを支援した。 ・セーフティネット認定数 30件 ・交付決定件数 12件	事業者の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定に寄与した。
16	中小事業者への設備投資支援	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図るため、事業所等の改修や設備等の導入に係る経費に対して補助する。	R4.4	R5.2	2,013,000	2,013,000	中小企業者の非接触、非対面型の店舗の改修や設備・備品の導入費用の一部を補助（上限50万円）した。 ・交付決定件数 12件	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び事業継続に寄与した。
17	新規起業家への支援	新型コロナウイルス感染症の影響により、不安定な社会経済情勢において、市内での新規起業家を支援するため、起業時に要する費用の一部を助成し、新規起業の促進と円滑な事業継続を図る。	R4.6	R5.3	2,615,000	2,615,000	市内で起業する事業者に対し、起業時に要する費用の一部を補助した。 ・店舗等賃借料交付決定件数 18件 ・PR活動交付決定件数 4件	コロナ禍において市内の新規起業家の促進と事業継続に寄与した。
18	高収益作物等作付転換促進事業補助金	新型コロナウイルス感染症の影響により米の需要が減少し、需給の急速な回復が見込まれない中、高収益作物等への転換及び定着を促進することにより、水稲生産から作付転換を行う取り組みに対して支援する。	R5.1	R5.3	22,278,000	22,278,000	水稲生産から高収益作物等への転換を進める農業者に対して、作付転換に係る取組に対して補助金を交付した。 ・前年度（前々年度）から水稲作付面積が減少し、高収益作物等への転換を図った面積を交付対象面積とした。 ・対象者 : 52人 ・対象面積 : 65.12ha	水稲からの高収益作物等への転換を促進させ、認定農業者など農業を生業にしている農業者の経営の安定化を図ることができた。
19	妊産婦応援タクシー利用助成事業補助金	コロナ禍で感染に不安を抱える妊産婦の負担を軽減し、陣痛や破水など出産のための受診や、体調不良等により自力で妊婦健診の受診が困難な場合の受診等の際に利用できるタクシー利用助成券を交付する。	R4.4	R5.3	290,680	290,000	妊産婦の移動負担及び感染リスクへの不安の軽減を図り、健やかな出産と育児を支援した。 ・申請件数 421件 ・利用件数 46件	妊産婦自身での移動や家族の支援による移動が多いことが、申請件数に対する利用件数の割合に現れている。自力等で受診が困難な場合に備え保管している事が考えられ、妊産婦の方が安心して受診することの一助となっている。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
20	プレミアム商品券の発行支援	コロナ禍により落ち込んだ地域内の消費需要を喚起するため、プレミアム商品券及びプレミアムたんばコイン（地域電子通貨）の発行事業の支援を行い、地域経済の活性化とキャッシュレス決済の推進を図る。	R4.5	R5.3	194,839,494	194,839,000	<p>プレミアム商品券を紙や地域電子通貨で発行することで、個人の地域内消費喚起し、地域経済の活性化を図った。（プレミアム率20%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアムたんばコイン販売：R4.5.20～6.30 最大36,000円分のプレミアムたんばコインを30,000円で販売 購入人数：6,716人 購入金額：2億3,400万円 ・プレミアムたんばコイン販売（2次販売）：R4.10.8～10.14 最大36,000円分のプレミアムたんばコインを30,000円で販売 購入人数：4,099人 購入金額：1億4,400万円 ・プレミアム商品券販売：R4.8.6～9.21 最大36,000円分のプレミアム商品券を30,000円で販売 購入世帯数：15,101世帯/26,403世帯（購入率57.19%） 購入冊数：89,426冊（5億3655万6千円） 	プレミアム商品券及びプレミアムたんばコインを発行することで、地域内の消費喚起及び地域経済の回復につなげた。
21	市内周遊・観光消費の喚起	新型コロナウイルス感染症の影響により、丹波市への来訪者が減少している状況の中、市内外の方に市内の観光スポットやお店・特産品等を知っていただくために、市内を周遊するバス旅行を支援することにより、観光入込客数の回復と観光消費の拡大を図る。	R4.4	R5.3	1,105,000	1,105,000	<p>市内の周遊バス旅行を行う団体に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数：31件 市外発着日帰り旅行：29件 市外発着市内宿泊旅行：2件 	市内観光や歴史・文化施設の周遊により、丹波市の魅力を知ってもらいつつ、市内における食事や宿泊、特産品等の購入者による地域消費を促進し、地域活性化を図ることができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち臨時交付金	取組内容・実績	評価（成果・課題）
22	観光誘客キャンペーン	コロナ禍で落ち込んだ市内観光の回復を図るため、観光拠点となっている「重点道の駅」丹波おばあちゃんの里において、夏休み期間や紅葉シーズンに特産品を販売するガチャガチャの設置や、デジタルスタンプラリーを実施し、観光の分散を図りつつ、市内周遊と消費を促進し、地域活性につなげる。	R4. 6	R5. 2	3,083,462	3,083,000	<p>【特産品ガチャ】 道の駅丹波おばあちゃんの里において1,400円相当の特産と500円クーポン券（1枚～3枚）が1,000円で購入できる企画を7月～8月に実施した。 ・特産品ガチャ 300個完売 ・クーポン券利用枚数 504枚 ・事業費 252,000円</p> <p>【デジタルスタンプラリー】 市内を3エリアに分け各エリアを巡る周遊デジタルスタンプラリーを10月～11月に実施した。 ・参加者数 1,013人 ・達成者数 164人 ・賞品当選者数 84人 ・事業費 2,831,462円</p>	<p>【特産品ガチャ】 ・丹波市特産品がお得にガチャができるもので、早期に完売した。 ・クーポン券は600枚発行のうち、504枚が市内登録店舗で利用され地域消費に効果があった（利用率84%）。</p> <p>【デジタルスタンプラリー】 ・延べ1,013人の参加があり、地域周遊を促進することができた。 ・達成者が164人であり、参加者数に比べて少なかった理由は、各スタンプポイントでお金をつかわないといけない仕組みにしていたためと思われる。</p>
23	観光活動の再活性化支援	ウィズコロナ社会に向けて、地域社会・経済の回復を図り、賑わいを取り戻すため、地域団体等が実施する観光活動の再活性化につながる集客事業に対し、丹波市観光協会を通じて補助金を交付する。	R4. 4	R5. 3	5,020,000	5,020,000	<p>地域で実施されるイベントに対し、補助対象経費の25%を補助し、イベント実施を支援した。 ・補助件数 12件</p>	<p>コロナからの回復兆しもあり、多くの団体が補助金を活用して賑わいを取り戻すイベント実施に寄与できた。</p>
24	観光スポットの魅力PR	コロナ禍で落ち込んだ市内観光の回復を図るため、丹波市の魅力ある観光スポットを紹介し、丹波市を知ってもらい来訪につなげる。	R4. 6	R5. 2	3,791,716	3,791,000	<p>丹波市の魅力をPRするために各種広告を行った。 ・神戸新聞広告（10/28） ・サンケイリビング広告（7/8） ・SAVVY広告（11月号） ・YouTube広告（8月と10月） ・NEXCO広告（4月～翌年1月）</p>	<p>丹波市の魅力をPRする広告をシーズンに合った広告を実施することができた。</p>
25	行政手続のオンライン化	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、市役所に来庁せずに住民票等の証明書が取得できるオンライン申請の拡充や、市役所での各種手続きに必要な書類や窓口が事前にわかる手続きガイドの導入を行い、市民サービスのデジタル化を図る。	R4. 4	R5. 3	2,448,600	2,448,000	<p>オンライン上での手続きガイド及びスマート申請サービスを提供した。 ・Graffer手続きガイド 年間アクセス数 1,389件 ・Grafferスマート申請 年間申請完結数 228件</p>	<p>従来からの窓口手続きだけではなく、オンライン上で手続きを案内する手続きガイド（年間アクセス数1,389件）や、オンライン上で申請手続きが完結するスマート申請サービス（年間申請完結数228件）によって、市民サービスの向上が図ることができた。</p>

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
26	スクールライフノートの利用	新型コロナウイルス感染症の影響で登校できない状況下においても、場所を問わずオンライン上で児童生徒の状況把握を行うため、心と学びの記録・振り返り支援システム（スクールライフノート）を利用して、心のケアが必要な児童生徒の早期発見と継続的な家庭学習の支援を図る。	R4.4	R5.3	5,432,842	5,432,000	スクールライフノートを市内全小中学校（29校）へ導入し、学校家庭問わず児童・生徒と教職員がつながる手段を構築した。	新型コロナウイルス感染症により、友達との交流も制約される中で、心のケアや不安への支援の一つとなった。コロナ不安だけではなく友達との関係に不安を抱いていた児童生徒に、教職員が変化に気づき対応することもできた。学校や教職員によって、活用率の差を埋めることに課題が残った。
27	タブレットドリルの利用	通信環境の有無に関わらず、学校での授業や家庭学習で子どもたちが学習に取り組むことができ、新型コロナウイルス感染症による臨時休校中においても学びを止めない取組としてタブレットドリルを利用する。	R4.4	R4.5	5,115,000	5,115,000	昨年度に引き続き、タブレットドリルを市内全小中学校（29校）へ導入し、授業中や臨時休業、自宅待機期間等場所を問わず、学習に取り組むことが出来る環境を整備した。	新型コロナウイルス感染症により、やむを得ず登校できない児童生徒が、家庭等、学校外から学習に取り組み、その学習状況について、教職員が児童生徒の学習状況をWeb上で確認するなど、やむを得ず登校できない児童生徒の学びを保障する取組を支援できた。
28	TAMBAシニアカレッジのラジオ教養講座の実施	コロナ禍においても自宅でも学習が継続できる新しい学びの形として、FMラジオを活用した「TAMBAシニアカレッジラジオ教養講座」を実施し、新しい生活様式に対応した受講を進める。	R4.5	R5.2	119,900	119,000	たんばコミュニティFMにおいて、TAMBAシニアカレッジラジオ教養講座の番組を制作放送した。 ・回数：28分番組×5回（8月～12月） （再放送各回1回あり）	自宅で講座を受講することができ、高齢者に学びの機会を提供することができた。 なお、ラジオのため一方的な受講となるが、地域高齢者学級の代表の座談会を行うなど、高齢者の学びの場を紹介できるような番組作成を工夫した。
29	水分れ公園遊具等の整備	コロナ禍で外出機会が減少している中、子どもが密などの新型コロナウイルス感染症リスクを避け安心して遊べる環境を整備するため、水分れ公園こどもひろばに分散して遊べる遊具等を整備したり、飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するためトイレの洋式化等の工事を行う。	R4.10	R5.3	20,870,300	17,370,000	コロナ禍における子どもの遊び場を確保するため、水分れ公園こども広場整備工事（敷地造成面積A=990.0㎡、張芝工A=122.0㎡、園路広場整備工A=86.0㎡、遊戯施設整備工5基、サービス施設整備工1式）を実施した。 また、感染拡大防止のため、トイレ改修工事（便器の洋式化4台、便座除菌クーラー4個）を実施した。	コロナ禍においても、子どもがストレスを抱えず安心して屋外で感染拡大を防ぎながら遊べる環境を整えることができた。また、トイレ改修により、感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。
30	今出川親水公園のトイレ整備等	コロナ禍で外出機会が減少している中、子どもが密などの新型コロナウイルス感染症リスクを避け安心して遊べる環境を整備するため、今出川親水公園に複数のパラソルや着替え用テント等を分散させて設置することで密を避けた日陰の滞在スペースを確保したり、飛沫飛散や接触による新型コロナウイルス感染拡大を防止するためトイレの洋式化等の工事を行う。	R4.6	R5.3	1,898,600	1,898,000	コロナ禍における子どもの遊び場を確保するため、今出川親水公園の物品購入（パラソル8本、椅子8脚、着替え用テント8個、足ふきマット8枚、ベンチ5基、物置1台）を行った。 また、感染拡大防止のため、トイレ改修工事（便器の洋式化4台、便座除菌クーラー5個）を実施した。	コロナ禍においても、子どもがストレスを抱えず安心して屋外で感染拡大を防ぎながら遊べる環境を整えることができた。また、トイレ改修により、感染拡大の要因となる飛沫飛散や接触による感染リスクを軽減することができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
31	地域の元気回復応援補助金	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自治協議会等の地域活動が中止・縮小を余儀なくされてきた中、市民と地域の元気を取り戻すため、感染防止対策を行ったうえで事業を再開する自治協議会等に対して補助する。	R4.4	R5.2	911,000	911,000	コロナ禍において中止や延期を余儀なくされた既存事業を再開させる自治協議会等を支援した。（上限10万円） ・補助対象団体 10団体	新しい生活様式に合わせたコロナ対策に要する経費や既存事業の拡充に要する経費を補助することで、感染対策を行いつつ、地域の活動再開を支援した。長い期間中止や延期されてきた事業を再開する機会を提供することができ、地域住民の活気を取り戻す明るい話題を提供することができた。
32	ホールイベントのインターネットライブ配信環境整備	文化ホール（春日・市島）での文化芸術活動をライブ配信できるように、配信環境の整備を行い、コロナ禍でも芸術文化活動を継続するとともに、芸術文化に触れる機会を確保する。	R4.10	R5.3	921,814	921,000	会場の外でも文化ホールの芸術文化活動を鑑賞できるようにするため、インターネット回線の配管工事やライブ配信映像スイッチャーの購入を行い、ライブ配信環境を整備した。 ・対象施設：ライブピアいちじま・春日文化ホール	コロナ感染防止対策による無観客公演や入場制限により、舞台芸術に触れる機会が制限される状況にあって、会場の外においてもインターネットを通じて鑑賞できるようになり、芸術文化に触れる機会を維持することができるようになった。また、ライブ配信を実施することにより、今後さらに注目される映像という新しいメディアの芸術を創造する環境が整備され、さらなる芸術文化活動の推進を図ることができる。
33	文化芸術に触れるはじめての一步講座	コロナ禍で文化芸術活動への参加機会が減少している中、文化芸術に触れる機会をつくるため、感染防止対策をとりつつ体験講座を開催し、文化芸術活動の取組を支援する。	R4.5	R5.3	404,289	404,000	・体温チェック、手指消毒、換気などのコロナ感染防止対策に行いながら、文化芸術体験講座「はじめての一步」を前期6回、後期5回実施した。内容は、伝統芸能講座（踊り）、美術鑑賞講座（木版画）、おもしろ楽器講座、伝統工芸講座（丹波布を使ったマスコット作り）、苔テラリウム作り、和太鼓、箏、ヒップホップダンス、クラシックバレエの体験講座を行った。参加者は合計68名。 ・親子で楽しむふれあいコンサートを2回実施した。参加者は親子53組。 ・オペレーター養成講座を6月と3月の2回実施した。受講者は合計3名。	・小中学校の子どもが多く参加できるように、講座内容、日程調整が必要だった。広報を積極的に行い、子どもたちが文化芸術に気軽に触れ、いろいろな体験ができるような場を提供し、何かをはじめきっかけづくりができた。 ・文化芸術に触れる機会が少ない子育て世代を対象とした音楽鑑賞会を開催し、親子で音楽を楽しむ機会を提供することができた。 ・「丹波市ならではの」ホール運営を行っていくため、オペレーター養成講座を実施し、受講者の中から2名が文化ホールスタッフとして加入された。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
34	「丹波市スポーツの日」事業の拡充	コロナ禍において、外出自粛やテレワークの推進などにより運動量が減少しており、体力・生活機能の低下のリスクが高まっているため、「丹波市スポーツの日」（10月の最終日曜日）にあわせて、スポーツイベント等を実施し、スポーツ活動再開のきっかけづくりや健康保持・増進を図る。	R4.9	R4.10	123,255	123,000	10月の最終日曜日を「丹波市スポーツの日」とし、平成24年度よりスポーツ実施率の向上を目指した取組みを実施。令和4年度のイベントは、コロナ禍においても、いつでも、どこでも、誰でも気軽に参加できるイベントで、「オクトーバー・ラン&ウォーク2022」を実施。種目は、ウォーキングとランニング。参加者が専用のスマートフォンアプリを利用し、10月（1カ月間）のウォーキングの歩数、ランニングの走行距離を競うイベントで個人、自治体による「ランキング」を通じて住民の参加意欲を高めるとともに、スポーツ実施率を高めることを期待し実施した。 ・参加者ウォーキングの部：167人 ・ランニングの部：26人	丹波市の参加状況は、ウォーキングの部において50歳代・60歳代の割合が全体の約4割を占めていた。また、ランニングの部は50歳代が一番多く4割以上を占めていた。運動不足になりがちな年代が多く参加され、スポーツ実施率の向上にもつながったととらえている。 今後は、全体の参加率を向上できるように参加方法やイベント実施のPR等を検討するとともに、実施率の向上、運動習慣、健康づくりにもつなげていけるよう取り組む。
35	地域公共交通新型コロナウイルス対応型運行支援補助金	コロナ禍において燃料費が高騰する中、公共交通事業者に対し、便数を維持して、密にならない運行や安全確保等に要する経費の一部を補助する。	R4.9	R5.1	813,000	813,000	市内バス路線を運行する公共交通事業者に対して、感染拡大防止のため、密にならない運行等に要する経費の一部を、県補助に加え、補助した。 ・公共交通事業者 1事業者 ・稼働車両台数 10台	運行便数を維持し、利便性を損なわずに地域公共交通網の維持・確保を図ることができた。
36	公共交通事業者への原油価格高騰対策補助金	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している交通事業者（路線バス、タクシー）に対して、車両燃料費の一部を補助する。	R4.8	R5.10	2,760,000	2,760,000	市内を運行する交通事業者に対し、車両燃料費の一部を補助した。 ・対象期間 R3.10月～R4.6月 ・路線バス事業者 1社 ・タクシー事業者 11社 （福祉輸送限定事業者を含む）	原油価格・物価高騰の影響を受ける交通事業者の車両燃料費の負担軽減を図ることができた。
37	中小企業者への原油価格高騰対策補助金	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している事業者の事業継続を支援するため、燃料費等の一部を補助する。	R4.8	R5.1	78,930,000	78,930,000	一定の要件を満たす中小企業者に対し、光熱費の一部を補助した。 ・対象期間 R3.10月～R4.6月 ・交付決定件数 349件	原油価格・物価高騰の影響を受ける中小企業者の事業継続に寄与した。
38	福祉事業所への原油価格高騰対策補助金	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している介護・障害福祉サービス事業所等の運営を支援するため、光熱費及び車両燃料費の一部を補助する。	R4.8	R4.12	28,245,092	28,245,000	福祉事業所に対し、光熱費及び車両燃料費の一部を補助した。 ・対象期間 R3.10月～R4.6月 ・交付決定件数 185件	光熱費等の高騰分を価格転嫁できない福祉事業所の事業継続に寄与した。 〔補助金申請時アンケートより〕 ①負担軽減に役立った…94.5% ②申請手続は分かりやすかった…70.8% ③補助額は適当であった…56.4%

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
39	認定こども園等への原油価格高騰対策補助金	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している認定こども園・小規模保育施設等を運営する事業所を支援するため、光熱費の一部を補助する。	R4. 4	R5. 3	3,826,000	3,760,000	認定こども園等を運営する事業所に対し、光熱費の一部を補助した。 ・対象期間 R3. 10月～R4. 6月 ・認定こども園等 17施設 3,760,000円 ・アフタースクール 2施設 66,000円	原油価格・物価高騰の影響を受ける認定こども園等を運営する事業所の安定した事業継続に寄与した。
40	学校給食食材費の負担軽減	コロナ禍において原油価格・物価高騰による学校給食への影響が懸念される中、栄養バランスや量を保った学校給食を提供しつつ、保護者負担の増加を抑制するため、学校給食費の値上げを抑制する。	R4. 4	R5. 3	11,088,508	9,940,000	小・中学校の児童・生徒の給食について、給食食材費の増額分に臨時交付金を充当し、栄養バランスや量を保った学校給食を提供しつつ、給食費の値上げを抑制した。 ・対象期間 R4. 4月～R5. 3月	子育て世帯の負担増加の抑制に寄与した。
41	認定こども園等の給食食材費の負担軽減	コロナ禍において原油価格・物価高騰による給食への影響が懸念される中、栄養バランスや量を保った給食を提供しつつ、保護者負担の増加を抑制するため、値上がりする給食食材費の増額分を補助し、給食費の値上げを抑制する。	R4. 4	R5. 3	9,488,010	2,609,000	認定こども園及び小規模施設の給食について、給食提供数に対して1食当たり18円を補助し、栄養バランスや量を保った学校給食を提供しつつ、給食費の値上げを抑制した。 ・対象期間 R4. 4月～R5. 3月 ・交付決定施設 15施設	副食費を値上げした施設はなく、子育て世帯の負担増加の抑制に寄与した。
42	認定こども園バス利用料の負担軽減	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受け、燃料費が高騰する中、保護者負担の増加を抑制するため、通園バスの燃料費の一部を補助し、保護者負担となる通園バス利用料の値上げを抑制する。	R4. 4	R5. 3	974,000	748,000	認定こども園の通園バスについて、通園バスの燃料費の一部を補助し、通園バス利用料の値上げを抑制した。 ・対象期間 R4. 4月～R5. 3月 ・交付決定施設 13施設	通園バスの利用料金を値上げした施設はなく、子育て世帯の負担増加の抑制に寄与した。
43	生活困窮世帯の学校給食費の免除	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けた生活困窮世帯の生活費の負担軽減を図るため、準要保護世帯の学校給食費を免除する。	R4. 7	R5. 3	14,717,889	7,358,000	準要保護世帯の学校給食費を全額免除した。 ・対象期間 R4. 7月～R5. 3月 ・対象児童・生徒数 489人	生活に困窮する子育て世帯の負担軽減を図ることができた。
44	生活困窮者への食料品等の支援	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている生活困窮世帯等に対し、食料品等を配布する「しゃきょうたすけあいフードドライブ」で食料品や日用品の不足分の購入費を補助する。	R4. 7	R4. 12	706,815	706,000	年2回（8月、12月）、市内のひとり親世帯やコロナ禍の影響を受け食料品を必要とする合計186世帯（436人）に対して食料品等の支援を行った。 ・8月実施 81世帯176人に配布 ・12月実施 105世帯260人に配布	原油価格・物価高騰の影響を受けているひとり親世帯、生活困窮世帯等への支援に着実に繋がった。また、受渡しを通じて、希望者とのつながりや地域内で困窮課題を共有するきっかけになった。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
45	水道事業会計繰出 (水道料金の基本料 金免除)	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている市民・事業者の負担軽減を図るため、水道料金の基本料金を4ヶ月分免除する。	R4. 6	R5. 3	171,609,217	171,609,000	水道を使用している市民・事業者の水道料金の基本料金を令和4年9月請求分から令和4年12月請求分の4ヶ月間免除した。 ・水道料金の基本料金免除件数 106,644件 ・水道料金の基本料金免除額 170,760,017円	水道を使用している市民・事業者の負担軽減を図ることができた。
46	福祉事業所への原油 価格等高騰対策補助 金(継続分)	コロナ禍においてエネルギー価格の高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している介護・障害福祉サービス事業所等の運営を支援するため、光熱費及び車両燃料費の高騰分に対し一部補助する対象期間を延長する。	R5. 1	R5. 3	19,476,000	19,476,000	福祉事業所に対し、光熱費及び車両燃料費の一部を補助した。 ・対象期間 R4. 7月～R4. 12月 ・交付決定件数 196件	光熱費等の高騰分を価格転嫁できない福祉事業所の事業継続に寄与した。 〔補助金申請時アンケートより〕 ①負担軽減に役立った…89.9% ②申請手続は分かりやすかった…76.7% ③補助額は適当であった…50.6%
47	認定こども園等への 原油価格等高騰対策 補助金	コロナ禍においてエネルギー価格の高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している市内の認定こども園及び小規模保育施設等を運営する事業所を支援するため、光熱費の高騰分に対し一部補助する対象期間を延長する。	R4. 7	R5. 3	6,184,000	2,197,000	認定こども園等を運営する事業所に対し、光熱費の一部を補助した。 ・対象期間 R4. 7月～R4. 12月 ・認定こども園等 17施設 6,086,000円 ・アフタースクール 2施設 98,000円	エネルギー価格の影響を受ける認定こども園等を運営する事業所の安定した事業継続に寄与した。
48	中小企業者への原油 価格等高騰対策補助 金(継続分)	コロナ禍においてエネルギー価格の高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している市内中小企業者の事業継続を支援するため、燃料費等の高騰分に対し一部補助する対象期間を延長する。	R4. 12	R5. 3	54,979,000	54,979,000	一定の要件を満たす中小企業者に対し、光熱費の一部を補助した。 ・対象期間 R4. 7月～R4. 12月 ・交付決定件数 364件	エネルギー価格の高騰の影響を受ける中小企業者の事業継続に寄与した。
49	地域公共交通新型コ ロonavirus対応型 運行支援補助金(継 続分)	コロナ禍においてエネルギー価格の高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している市内交通事業者に対し、便数を維持して運行に取り組むための経費の一部を補助する。	R4. 12	R5. 3	873,000	873,000	市内バス路線を運行する公共交通事業者に対して、感染拡大防止のため、密にならない運行等に要する経費の一部を、県補助に加え、補助した。 ・公共交通事業者 1事業者 ・稼働車両台数 10台	運行便数を維持し、利便性を損なわずに地域公共交通網の維持・確保を図ることができた。
50	公共交通事業者への 原油価格高騰対策補 助金(継続分)	コロナ禍においてエネルギー価格の高騰の影響を受け、厳しい経営状況に直面している市内交通事業者（路線バス、タクシー）に対して、車両燃料費の高騰分に対し一部補助する対象期間を延長する。	R4. 12	R5. 3	1,846,000	1,846,000	市内を運行する交通事業者に対し、車両燃料費の一部を補助した。 ・対象期間 R3. 10月～R4. 6月 ・路線バス事業者 1社 ・タクシー事業者 11社 (福祉輸送限定事業者を含む)	エネルギー価格の高騰の影響を受ける交通事業者の車両燃料費の負担軽減を図ることができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
51	農業肥料価格高騰支援事業支援金	世界情勢や円安基調等の影響により肥料等の農業生産資材が高騰し、農業生産費用が増加していることから、農業経営に影響を受けている農業者に支援金を支給することで営農継続を支援する。	R4.11	R5.3	66,299,331	66,299,000	令和4年度農産物を作付けしている農業者に対し、作付け面積に応じて支援金を支給した（上限：30万円）。 ・支援単価 @3,000/10a(水稻) @2,000/10a(その他対象作物) ・支援金支給者 2,778人	農業生産費用が増加し、厳しい経営状況にある多くの農業者に対し、支援することで農業者の営農継続の下支えとなった。
52	学校給食費の免除	コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の高騰の影響を受ける小・中学生の保護者の負担を軽減するため、小・中学校の児童・生徒の世帯に対して、学校給食費を免除する。	R4.12	R5.3	61,449,471	59,388,000	市内の小・中学校の児童・生徒の学校給食費を全額免除した。 ・対象期間 R4.12月～R5.3月 ・免除延べ食数 241,822食	エネルギー・食料品価格等の高騰の影響を受ける子育て世帯の負担軽減を図ることができた。
53	子ども・子育て支援交付金	新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくため、直営の事業所においては必要なマスクや消毒液等の感染防止用の物品を購入し、事業者においては感染予防に必要な経費（かかり増し経費、物品購入費、施設改修費等）を補助することで、利用者の感染予防を図る。	R4.9	R5.3	20,525,252	6,840,000	認定こども園等に対し、感染拡大防止に係る消毒用品の購入や非接触型の電気スイッチの設置、手洗い場の自動水栓の付替えなどの簡易な工事に要した費用を補助した。 ・施設改修補助 7施設 5,901,000円 ・こども園等衛生用品等補助 14施設 9,943,000円 ・アフタースクール 4,478,000円 ・子育て学習センター 203,252円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により認定こども園等を閉所した施設はほとんどなく、感染対策を実施しながら、事業継続を図ることができた。また、ワクチン接種対象外となる乳幼児等が利用する施設であり、適切な感染防止対策を進めることで、感染の影響を最小限にとどめ、子育て環境を維持することができた。
54	地域少子化対策重点推進交付金	コロナ禍における結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新生活を開始する新婚世帯を対象に住居費や引越費用等を補助する。	R4.6	R5.3	2,692,000	1,346,000	婚姻に伴い、新生活を開始する一定の要件を満たす新婚世帯に対し、住居費や引越費用等を補助した。 ・補助金交付件数 15件	新婚夫婦の新しい生活への経済的な支援を行い、新生活のスタートアップを支援と少子化対策の強化を図ることができた。
55	地域少子化対策重点推進交付金	新型コロナウイルス感染状況に応じた市内の子育て情報の収集及び発信の強化を図るため、子育て支援サイトを構築する。	R4.9	R5.3	4,888,400	2,444,000	子育て支援サイトを構築し、子育て支援関係情報の発信を一元化を行った。 ・丹波市子育て支援サイト「むぎゅっと！はぐすたー」の構築	利用者の利便性の向上と情報発信の強化を図ることができた。
56	保育対策総合支援事業費補助金	感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくため、直営の事業所においては必要なマスクや消毒液等の感染防止用の物品を購入し、事業者においては、感染予防に必要な経費（かかり増し経費、物品購入費等）を補助することで、利用者の感染予防を図る。	R4.9	R5.3	6,721,589	3,360,000	児童福祉施設に対し、感染拡大防止に係る消毒用品の購入や勤務する保育士等へのかかり増し経費等に対して補助した。 ・こども園等保育施設 15施設 6,653,000円 ・児童館 1施設 68,589円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により認定こども園等を閉所した施設はほとんどなく、感染対策を実施しながら、事業継続を図ることができた。また、ワクチン接種対象外となる乳幼児等が利用する施設であり、適切な感染防止対策を進めることで、感染の影響を最小限にとどめ、子育て環境を維持することができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち臨時交付金	取組内容・実績	評価（成果・課題）
57	学校保健特別対策事業費補助金	児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品を購入し、学校教育活動の円滑な運営に資する。	R4.6	R5.3	10,487,233	5,243,000	感染対策として、アルコール消毒液や清掃用具等の環境衛生にかかる物品の購入により感染の予防を図った。 ・小学校：22校 ・中学校：7校 ・主な購入物品 アルコール消毒液、アルコール除菌シート、アルコール除菌スプレー、アルコールディスペンサー、次亜塩素酸ナトリウム製剤、霧吹き、使いきりポリエチレン手袋、ゴム手袋、飛沫防止パーテーション、非接触体温計、体温計、ソープディスペンサー、ハンドソープ、手洗い石鹸、洗い練習スタンプ、ペーパータオル、ティッシュペーパー、サーキュレーター、ゴミ箱、タオル、クイックルワイパー、お掃除シート、雑巾、トイレ用洗剤、トイレブラシ、デッキブラシ、嘔吐凝固剤、漂白剤、加湿器用フィルター、マスク、クリアシートマスク、マウスシールド、フェイスシールド、防護マスク、ビニール袋、ゴミ袋、キッチン透明袋、ポリエチ袖付エプロン、温湿度計、紙コップ、布団カバー、学習教材、電池、色上質紙	アルコール消毒液整備や環境衛生の向上により、学校生活における感染拡大防止につながった。
58	妊娠出産子育て支援交付金	コロナ禍における妊娠・出産の際の負担軽減を図るため、妊娠・出産者に給付金を支給する。	R5.1	R5.3	33,595,766	5,599,000	令和4年4月以降に妊娠・出産された方に対し、5万円を電子地域通貨（たんばコイン）で給付した。 ・出産応援分 410件 ・子育て応援分 259件	妊娠・出産に係る子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。